

地域新エネルギービジョンを策定

市は「一関市環境基本計画」に基づき、地球温暖化防止に向けた取り組みとして、「一関市地域新エネルギービジョン」を策定しました。

積極的な新エネルギーの普及導入に市民・事業者・行政が一体となって取り組み、新エネルギーを市民生活の中に根付かせた地域社会の構築と、特色をもったまちづくりを推進します。策定に当たっては、学識経験者、産業関係団体、環境関係者、エ



22年度から住宅用太陽光発電システム導入に助成します

ルギー供給者、まちづくりスタッフバンク登録者などで構成する策定委員会を開催して意見をいただいたほか、アンケート調査やパブリックコメントなどで多くの市民や事業者から意見をいただきながら進めてきました。地域新エネルギービジョンの概要についてお知らせします。

導入目標

平成32年度までに、エネルギー消費量(19年度基準)に占める新エネルギーの割合を3割とします。この目標を達成するため、10年後を見据えた中・長期的な視点により、重点プロジェクトに設定した各種取り組みを積極的に推進します。

新エネルギーの導入は、本市の地域特性などを踏まえ、次の三つの基本方針を掲げます。今後はこの方針に基づき、すべての市民・事業者・行政が協働で取り組みます。

ます。

基本方針1

地球温暖化防止に向け、公共施設へ先導的に新エネルギーの導入を推進します。

【重点プロジェクト】

- 1 太陽光発電システムの導入
- 2 太陽熱利用機器の導入
- 3 木質バイオマスエネルギー設備の導入
- 4 ハイブリッド型街灯の導入
- 5 クリーンエネルギー自動車の導入

基本方針2

自然環境と地域経済・地域コミュニティとの好循環を生み出す持続可能な社会の構築を目指す。新エネルギーの導入を推進します。

【重点プロジェクト】

- 1 間伐材など木質バイオマスの有効利用
- 2 廃食用油の回収拡大ならびにバイオディーゼル燃料利用の促進
- 3 雪氷熱を利用した農作物の冷蔵施設の整備
- 4 温泉排熱を利用したヒートポンプによる加温システムの導入
- 5 風力発電の導入
- 6 中小水力発電の導入

入7 ハイブリッド型発電システムの導入

8 新エネルギー導入助成制度の充実

9 民間事業者の新エネルギー設備導入への支援

基本方針3

市民・事業者・行政が連携・協働し、新エネルギーの普及と環境教育を推進します。

【重点プロジェクト】

- 1 子どもたちへの新エネルギー教育の充実
- 2 市民への新エネルギー教育の充実
- 3 啓発イベントの開催
- 4 ホームページなどでの新エネルギーの情報発信

推進体制

新エネルギー導入、普及の推進には、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で主体的に取り組むとともに、連携協力して取り組んでいくことが重要です。各主体がそれぞれの役割を認識し、本ビジョンの目標実現に向けた取り組みを推進します。

ビジョンの全文は、本庁生活環境課、各支所市民課、各図書館に備え付けるほか、市ホームページにも掲載しています。

◎問い合わせ先
本庁生活環境課 ☎208342

学校新聞コンクール



菊池君(中央)、千葉君(右から2番目)らが訪れ学校新聞の取り組みを報告しました

興田中学校新聞委員会は全国小・中学校・PTA新聞コンクール中学・学校新聞の部で全国新聞教育研究協議会賞に輝きました

た。3月16日、関係者が市役所本庁を訪問。前期委員長の菊池拓海君(3年)と後期委員長の千葉武君(2年)が「努力が実った」「今後は生徒会の取り組みを記事にしていきたい」と勝部市長に報告し、祝福を受けました。

同校の「興中新聞」はB4版1ページで手書き。月1、2回、学校生活を伝えています。

全国小学生ソフトテニス大会

全国小学生ソフトテニス大会(3月29日から千葉県白子町で開催)に出場を決めた選手らが3月26日、出場報告のため市役



8人の選手らが全国大会での健闘を誓いました

所本庁を訪れました。

出場するのは、一関ソフトテニススポーツ少年団の鈴木雄大君・小野崇樹君ペア、三浦幸大君・小野寺映司君ペア(以上南小

少年消防クラブ

5年)、熊谷純花さん・菅原綾乃さんペア(一関小5年)、星光一君・荻荻夢君ペア(赤荻小4年)の4組。小野君が「日ごろの成果を発揮して頑張ります」と勝部市長に抱負を述べました。

弥栄1、2、3区を拠点に活動する富沢少年消防クラブは3月26日、優良な少年消防クラブとして消防庁長官から表彰を受けました。関係者が3月29日、市役所本庁を訪れ勝部市長に報告しました。

クラブ員の伊藤力也君、小野



伊藤力也君(左から2番目)、小野寺航君(右から2番目)ら関係者が訪れました

寺航君(いずれも弥栄小6年)は「とてもうれしい」「弥栄が火事にならないように頑張る」と喜びと抱負を語りました。

産直 産直ふるさと大東 (大東町)

大東産100%にこだわる
多くのオリジナル商品



国道343号沿いで渋民橋から約200m、南東に室根山を望む位置にある産直ふるさと大東。天窓の光で明るい店内には季節の野菜をはじめ、もち、まんじゅう、漬け物など農産加工品、切り花、手工芸品などが並びます。高品質な干しシイタケやリンゴジュースは贈答用に人気。加工部手作りのまんじゅう、がんづき、もち類や高きび大福、手前みそなどのオリジナル商品が自慢です。

21年4月に発売した山ぶどうソフトクリーム(250円)は、大原山ぶどうの会が生産する山ブドウの濃縮果汁を原料にした、ここだけの味。山ブドウの酸味と、地元産の牛乳の配合にこだわります。

●季節のイベントでふるさとをアピール

近辺の有人産直の先がけとして平成7年8月、現在地にオープン。組合員は大東町内全域から集まり、現在97人です。7月下旬のとうもろこし祭り、切り花が人気の8月のお盆市、もちまきを行う11月上旬の産直まつり、12月末の年末感謝セールと、季節ごとのイベントが好評です。

組合長の藤原良一さん



(右から2番目)は雑穀のアワや野菜全般を出荷。「加工部では婚礼、新築など行事の注文に応じ、もち加工を行い好評です」と語ります。副組合長の菅原豊一さん(右)は「町内産の材料にこだわった加工品は、価格が高いと感じるかもしれないが品質に自信があるので理解してほしい」と呼び掛けます。レジ担当の菊池ふみさん(左)と事務担当の三浦さとみさん(左から2人目)は明るい笑顔でお客様を迎えています。

- ◆運営…地域特産物直売組合(藤原良一組合長 大東町 渋民字関ノ上114-4 ☎75-3134)
- ◆営業時間…4月～9月は9:00～18:30、10月～12月は9:00～18:00、1月～3月は9:00～17:30
- ◆定休日…1月1・2日



次回は、「れいな de フローレス直売組合」(花泉)を訪ねます。

おめでとう100歳



菅原林作さん(一関3月12日)

「一関ケアサポート」で親族らに囲まれ祝福を受けました。奥州市胆沢区生まれで、家具職人として働きました。



伊東弥平さん(大東3月20日)

家族に祝福され自宅誕生を迎えた弥平さん。できることは自分で行い、デイサービスに元気で通います。